

時間割コード	G1D11621	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュⅡ(初級)					担当教員	MITCHAM RODERICK ELLIS
英文授業名	Practical EnglishⅡ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	FⅠ【6】
講義室	共通教育53講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical EnglishⅠに引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（ 主にリスニングスキル及びリーディングスキル ）を養っていく。 結果として、英語資格試験において求められるスキル（ 語彙力・文法力・リスニングスキル・リーディングスキル ）の習熟にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	1. Course Introduction; Principles of Essay reading and writing; Essay topic wishlist Presentation Prep 2. Presentations 3. Essay reading and writing (Topic 1) 4. Essay Presentations 5. Essay reading and writing (Topic 2) 6. Essay Presentations 7. Mid Semester Exam Rereading and Essay writing (Topic: CLR for L1-L6) 8. Mid Semester Exam Essay Presentations 9. Essay reading and writing (Topic 3) 10. Essay Presentations 11. Essay reading and writing (Topic 4) 12. Essay Presentations 13. Essay reading and writing (Topic 5) 14. Essay Presentations 15. Final Semester Exam Rereading and Essay writing (Topic: CLR for L7-L14) 16. Final Exam Essay Presentations, 授業アンケート						
(7)成績評価の方法	① Presentations (30%) ② Mid-Semester Exam (20%) ③ Final Semester Exam (30%) TOEIC IPテストのスコア(10%) ④（評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.018 【上限10%】） ⑤「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ Complete homework as instructed.						
(10)履修上の注意	Bring to each class a pen or pencil, notepaper and a device with which to connect to the internet.						
(11)質問,相談への対応	Contact r_mitcham@shinshu-u.ac.jp by email in the first instance.						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・ 感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・ 「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。） Ask a member of the class what the homework was and complete it.
【教科書】	なし
【参考書】	Sources will be recommended during the course as necessary.